

人生の評価 (マルコ 5:1-20)

刑務所に入っている人、精神病の人、家庭が壊れている人、病を患っている人、途中で夢を挫折した人…このような人々のことを失敗の人生だと言うことが多いです。それは正しい評価なのでしょうか。今日の聖書箇所は、悪霊につかれた人がイエス様に出会って悪霊を追い出してもらいました。その場面から、人生はどのように評価すべきなのかを見てください。

成功の人生か失敗の人生かの評価は、この世はすでに暗闇に覆われていることを前提にしてこそ成り立ちます。

1. 絶望的な異常が最高の祝福の機会になる。

1) 悪霊に取りつかれて、コントロール不能 今日聖書箇所に出て来る人は、レギオン（大勢の悪霊）につかれています。どうしようもない人でした。しかし、イエス様に出会って人が変わり、イエス様について行くことと願いましたが、イエス様はその人に家に戻るよう勧められ、その人は家に戻ってイエス様のことを話し、福音を広める最高の勝利、成功ある人生になりました。一般的には、社会的地位、すばらしい長所や力がある人が成功だと言いますが、その見方を変えるべきです。

2) イエス様の周りに集まった人々

イエス様の周りには、中風の人、不治の病（長血の女）、人に指さされる取税人、5回も結婚したのにうまくいかずひっそりと暮らす人、そのような人々が集まっていました。そのように、普通に見ると絶望であり、コン

トロール不能の人生の人々が、その異常さを通して、目には見えない世界である、暗やみの働きを見る機会になりました。

3) 人間の手に負えない違う世界

神様は、そのような異常さを通して、人の手には負えない霊的世界があることを知らせてくださいます。理論、法則、宗教、人間的ながんばりでは、まったく頼りにならず、希望もないと気づくきっかけになるのです。

4) Only キリスト、Only イエス

そして、only キリストに向かうようになります。お金も勉強も通じない、悪霊の世界があり、なにかのせいでも、なにかあればよいだけでなく、ただ神様の恵みでなければならぬと気づき、only キリスト、only イエスになります。正しい、正しくないではなく、天下にこの御名の他には救いはない（使徒 4:12）ことを知らせてくださいます。そして、そのキリスト・イエスに向かい、救い主として信じて受け入れるとき、悪霊が追い出され、死と罪の原理から解放されるのです。

5) 新しいいのちと天国の希望、証人

新しいいのちが与えられ、天国の希望を持って歩むように造り変えられます。そして、残りの生涯、イエスの証人として生きていきます。これが、成功ある最高の人生です。自分の人生や人の人生を勝手な考えで評価しないようにしましょう。神様は御子を十字架に引き渡された無条件の愛で罪人を救ってくださるのです。脳に刻印されている否定的な考えは、悪霊のしわざです。失望せず、only キリストに向かいましょう。

2. 普通の正常がむしろ真の祝福を遠ざける

1) 3、6、11 が基本

世の中は暗やみに覆われているので、基本が創世記 3,6,11 章です。自分、見えること、この世中心です。

2) 衣食住がテーマ

世の中の正常のテーマは衣食住です。

3) 損得の計算、是々非々、こだわり多い

神様を知らず、暗やみに覆われているので、損得計算、是非を論じること、こだわりが多いのです。知識や経験のこだわりは、みことばを通して恵みを受けるのに害になることに気づきましょう。そして、みことばにより違う世界を見ましょう。

4) 福音を拒む(17)

今日の聖書に出て来る正常な人々は、豚が死んだと聞いて、みんな死んでしまうと、計算をして、イエス様に出て行ってくださいと言います。計算をして、福音を拒む人がいます。その人々のために、ごりやくを取り上げる教会もあります。

5) 人生の破産

しかし、イエス様を拒む世の中の正常な人、成功者は、最終的には破産してしまうのです。

正常とはなにかに気づきましょう。悪霊につかれたのは、本来の姿が現れているだけです。イエス様の評価は世の評価とは違います。いままで刻印されたことが、世の中のことで、**「なるほど」と、刻印されている考えが変わるように、受け入れましょう。人生評価の基準はキリストであるイエス様です。**

絶望的、諦めているところを、違う世界を認めて、Only イエスを告白する材料にしましょう。

Only イエスを邪魔するこだわりを切り捨て、「イエスにより自分は最高の人生だ」と宣言し、使徒 1:7-8 にこだわりをシフトして 14 の祈りをしましょう。御座の力が臨む、幸いな存在です。「イエスのいないすべての人は伝道の対象者」「イエスのあるすべての人は伝道者」というのが正しい評価です。

1 部-マルコ 5:1-20 人生の評価

なるほど/この世はすでに暗闇に覆われていることを前提に人生を評価すると、絶望的異常が祝福の機会となり勝利の人生を歩けるし、普通の正常はむしろ祝福の機会を遠ざけて人生は破産してしまう。

ならば/人生評価の基準をイエス・キリストにして、Only イエスを告白し、自分は最高の人生であることを確認し、使徒 1:7-8 を持って 14 の祈りに入ろう。

2 部-エペソ 1:21 機会提供

なるほど/不安と苦しみの中でさまよっている現場に、福音を聞く機会を提供することは信者の特権であり、神様の喜びであり、神様はその答えを備えて導かれる。

ならば/教会に 3 つの庭を備えて、現場に福音を聞く機会を提供することを心に抱いて祈り、神様の導きを受けよう。